クライミング

野岳クライミング

～年末駆け込みイレブンクライマー誕生～

【報　告　者】金崎久代
【日　　時】2005 年 12 月 18 日（日）　【天　候】雪ー晴れー曇り
【参　加　者】中井　杉田　望月　中村　金崎

≪　報　　告　≫

大寒波予報をものともせず、馴染みの野岳に向かうクライマーズ。三瀬峠は前日からの雪で通行止め。鳥栖側から迂回して東九州道へ。野岳到着。さ、寒いよ～

まずは、アップでおのおののルートに散る。寒さの為体が思うように動かない。カチカチや～　チョークバックにカイロを忍ばせても指先の感覚は無い。岩も冷たいのなんのって！なんでこんな思いをしてまで登るのか？それは自分でも分からない…

本日の課題。中村さんは「魔終」。一本目は RP ならずだったが、イイ感じだったらしい。私は相変わらず「ホテルイレブン」。核心のハング越えはなんとかクリアできたが、その後の立ち込みが怖くて、まだまだ先は遠い。男三人衆は「鹿島鮒市」を熱くセッション。離陸が相当ムズいようで奮闘していた。午前中 2、3 本登ってランチタイム。小料理ヒサヨの本日のおすすめは酒粕入り豚汁。寒い時は体の中からあっためないとね。（但し、酒粕入れすぎると酔っぱらってまうので要注意。）

午後から、中村さんは再度「魔終」にトライ。私がビレイをかって出る。核心手前のトラバースも危なげなくこなし、いよいよ核心のハング乗っ越し。持ち前の思い切りの良さで、すんなりと越えた。あとは出前持ちムーブをこなし、落ち着いて終了点にクリップするだけだ。カチャリ。「テーンショーン♪」中村さんの嬉しそうな声が響く。感動の瞬間を分かち合う。やったね、なっちゃん！正面壁にいる杉っちを呼びつけ写真を撮ってもらう。本気でクライミングに打ち込みはじめて、わずか 2 か月でイレブンクライマーになってしまうとは！女版ムーチョ誕生？

2005 年野岳登り納めにふさわしい素晴らしい一日だった。なっちゃんから大いにモチをもらい、来年も岩にはじかれつつも、かじり付くことになるだろうなぁ。

【魔終の感想】by 中村

ずっと登れなかった魔の終着駅･･･。核心部分がどーうしても越えられず、四苦八苦していたのですが、前回、金崎さんの助言でムーブをちょこっと変えたら登れた！ので、今回はリードで登ってみたのでした。1 回目は失敗、2 回目は核心を越えることができ

ました。最終地点が近づいてくると「も、もしかして登れるかも･･･？」と思わずドキドキ心臓の音が高まっていき、最後にクリップした瞬間、思わず叫んでしまいました。これからも頑張って練習していきたいです。とりあえずはなんちゃってイレブンと言われないように、別のイレブンのルートを早く登りたいです。

【なっちゃん魔終 RP おめでとう！　出世街道まっしぐらだ～】

【満面の笑みの中村さんと、目が笑っていない（？）中井さん】